

## 令和4年度 病院相互訪問チェックリスト

施設名:国立病院機構東京病院

課題名	Plan		Do	Check		Assessment
	最終目標	なにを		どのように	実施状況	
A 共通テーマ 「放射線治療の 質の向上」	I 治療手技・部位拡大	① 治療装置の更新により高精度放射線治療（定位照射・IMRT・IGRT等）が行えるようになり、治療手技の選択肢を広げた。	実施中	12/21	50%	装置更新当初の高精度放射線治療は、IGRT・肺定位照射のみであったが、治療医が2名体制になり、IMRTや脳定位照射等が可能になり治療手技の選択肢を広げる体制を整えた。
		① 高精度放射線治療を対象とする照射部位を拡大した。	実施中	12/21	50%	定位照射の対象部位が肺から脳にも拡大し、IMRTの対象部位も前立腺から胸部・膀胱・直腸・椎体等が可能とする体制を整えた。
	II 患者説明・同意書の改定	① 患者説明・同意書が1種類で運用していた。疾患・照射方法別に分かりやすくした。	完了	12/21	100%	1種類の患者説明・同意書を各部位・照射方法に変更を行った
		② 患者説明・同意書を用いて、今後技師がわかりやすくパンフレットを作成予定。	未実施	12/21	0%	
	III	①	選択してください	/	%	
		②	選択してください	/	%	
B ブロックテーマ 「 」	I	①	選択してください	/	%	
		②	選択してください	/	%	
	II	①	選択してください	/	%	
		②	選択してください	/	%	
	III	①	選択してください	/	%	
		②	選択してください	/	%	
C 施設テーマ 「 」	I	①	選択してください	/	%	
		②	選択してください	/	%	
	II	①	選択してください	/	%	
		②	選択してください	/	%	
	III	①	選択してください	/	%	
		②	選択してください	/	%	

評価施設名: ○○病院 / 評価(訪問)日: 2022年12月26日 / 実施方法: 対面

評価	A-I 選択	A-II 選択	A-III 選択	B-I 選択	B-II 選択	B-III 選択	C-I 選択	C-II 選択	C-III 選択
総評	<p>A I 医師が2名になったことで定位照射やIMRTなどの高精度放射線治療の推進が図られていました。適応拡大に向けて着実に準備を進めておられるようです。今後、治療件数が増加するものと思いますので、職種間の連携をより一層深めていただき、安全で確実な治療の提供を進めていただければと思います。高精度治療の計画は医師1名のみの担当とお聞きしました。職種を問わず、複数名で担当・分担することがリスクを減らすことにもなると思います。</p> <p>A II 今まで1種類であった患者説明・同意書を治療部位別に作成したことでわかり易くなったと思います。また、技師が説明するためのパンフレットを作成予定とのことでしたが、患者の不安や疑問の解消の一助となるような、施設の状況現状を反映した内容になると良いと思います。</p>								